

## 活動報告

団体名	公益社団法人 青年海外協力協会
活動名	丸森町避難所（3か所）の運営支援と被災者支援活動
活動期間	2019/10/13 ～ 2019/12/31
活動の成果	<p>【活動の目的】            避難者の自主性の醸成（避難所運営の多くが避難者による自主活動によりサポートされている）/避難者のコミュニティ形成支援とニーズ調査/仮設住宅の見守りと集会所開放/支援団体との連携</p> <p>【活動の成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・傾聴活動：被災時の困難や避難所での気苦労など丁寧に傾聴するように努めた</li> <li>・他支援団体との連携・協力：催し物や炊き出しなどをスムーズに展開した。</li> <li>・配膳準備及び配膳サービス：避難所での配膳業務を支援。多くの避難者とコミュニケーションが取れる機会がこの機会に避難者との距離を縮めることに努めた</li> <li>・仮設住宅支援：仮設住宅に引っ越して間もなく年末年始となり見守り体制が手薄になるため、丸森町保健福祉課と支援団体で協議して、被災者のため一部の共有スペースを解放しながら並行して個別訪問を実施した。</li> <li>・避難者の体調管理：最も懸念したのは集団生活中のインフルエンザの発病で、あらゆる対策を講じた。一人も発病しなかったのはひとえに手洗いの消毒励行、室内の湿度管理、換気の徹底に避難者と支援者で協力し実施した結果だった。</li> <li>・避難所生活改善：避難先施設の修理、車いす用のアプローチ整備、多数の暖房器具設置に伴う電気設備のチェック、など生活環境の整備を進めた。</li> </ul>
寄付者へのメッセージ	<p>皆様からのあたたかいご支援をいただき、心より感謝いたしております。皆様からいただいたご寄付を今後も災害復興支援に役立てたいと思います。当協会は、海外で人々とともに課題解決に向けて取り組んできた青年海外協力隊 OB を中心とした組織です。今回の支援活動でも個々人が得意分野を活かした活動を行い、被災住民の方々が一刻も早く日常生活を取り戻し、自立した暮らしを迎えられるようサポートを行いました。活動させていただいた丸森町では、避難所から仮設住宅運営まで、東日本大震災の時に当協会が培った災害支援の経験を活かした活動ができたと感じます。災害後の対応はもちろん防災面においても、近年の度重なる災害によって今後のニーズは高まっていくと思われます。今回の支援で得た成果と課題を当協会内だけでなく、今後災害支援を行う団体に積極的に伝えていくことも私たちの役割であると感じております。ご支援、誠にありがとうございました。国内外を問わず、支援の輪が益々広まっていくことを願っております。</p>

(活動のようす)

